

周波数ひっ迫対策のための国際標準化連絡調整事務 平成27年度事前評価結果

(5点満点)

案件名	実施期間	主な評価コメント	評価
第5世代移動通信システムの国際協調に向けた国際機関等との連絡調整事務	H27～H31	<ul style="list-style-type: none"> ・第5世代は研究開発でも案件が上がっており、本連絡調整事務と連携を取って進められることで、より高い成果が期待できると思う。 ・特に、当面の5GのConceptとRequirementsの明確化、周波数割当てに関する議論、3GPPに引き続く仲間づくり、などが重要と考える。 ・ITU-R活動が主体となると思われるが、それ以外に、海外調査費、国際ワークショップ等の費用が計上されているが、第5世代移動の産業規模を考えれば妥当である。 	4.5